

平成28年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 野崎小学校
校長氏名	岩 井 秀 文
作成日	平成 29年 2月 21日

1 教育目標

豊かな感性を身につけ、主体的に学習に取り組み、夢に向かってチャレンジする子どもを育てる

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<p>①学校と家庭、保護者・PTA・地域との連携を図ることにより、信頼関係を構築する。</p> <p>②必要に応じて、S.カウンセラーや関係機関等との連携を積極的に行い、支援を必要とする児童への対応を図る。</p> <p>③学校行事の精選と校務分掌の役割分担を検討、簡素化し、保護者や子どもへ関われる時間を重視する。</p>	<p>①生命の尊さ、自他の人権を尊重する態度や道徳心を培い、好ましい人間関係をつくる。</p> <p>②健全な心身の発達のため、積極的に運動・文化行事等に参加を促し、体力の増進や芸術に親しむ心を養う。</p> <p>③学校施設の老朽化に伴う修繕や備品の購入など、改善に向けて努力する。</p>	<p>①集中力、読む力をつけるための一助となる読書活動、基礎タイム、放課後フォローアップ・うちどくの更なる充実に向けて検討する。</p> <p>②学力向上につながるような練習問題を精選・整理し支援を必要とする児童に確かな学力を身に付けさせる。</p> <p>③全教職員による児童の理解と知識の共有、また現職教育も含め、指導内容の充実に向け努力する。</p>
取組の状況【D】	<p>○S.カウンセラーや関係機関と連携し、保護者の意見を聞きながら、不登校傾向の児童や遅刻の多い児童に関わって、その問題把握と解決に努力した。</p> <p>○行事内容を再検討し、校務分掌の担当者数を必要最小限となるよう話し合った。</p>	<p>○各教室へ学校教育目標を掲示し、常に教員が意識して取り組むように促したり、挨拶を徹底させることで豊かな心を培うようにした。</p> <p>○校舎内や正門・南門・遊具等のペンキ塗り、窓ガラスの枠ゴムの取り換え、木々の枝の伐採など物事の美化に努めた。</p>	<p>○うちどくコーナーでは児童への興味付けを図ったり、市民図書館より児童書を500冊借り各教室に配置するなど読書活動に活用している。</p> <p>○学力の向上につながるため、教室への過去の問題掲示、教員の授業方法の改善・努力点などを共通認識した。</p>
取組の成果と課題【G】	<p>○学校として、保護者・児童への密な対応を図ったが、保護者や家庭を取り巻く環境に左右されることも多いため、短期間での問題解決は難しい。</p> <p>○校務分掌の担当者等を見直したが、煩雑さが少しは改善された。</p>	<p>○学校教育目標の掲示により、共通して取り組もうとする意識が表れてきたように思う。挨拶面では教員にもさらに促していく必要がある。</p> <p>○校舎内のペンキ塗り、窓ガラスの枠ゴムの取り換え、入場門の購入など設営の簡素化と物事の美化が図れた。</p>	<p>○うちどくコーナーでは児童への興味付けが図られ、雨天の時はより読書に親しめるようになった。しかし、まだ本の冊数が少ないのが課題である。</p> <p>○学力の向上につながるため、教室へ過去の問題掲示、教員の授業方法の改善・努力点などを共通認識した。さらに教育委員会より配布されているeライブラリーも活用している。</p>
改善方法【A】	<p>○いじめ防止対策委員会を設けているが、来年度は、いじめ・不登校防止対策委員会として設け、随時ではなく定期的に、いじめ問題や不登校児童への対応を検討するような体制をつくっていききたい。</p> <p>○校務分掌の責任者の自覚が薄いため、もっと自主的に話し合い、企画をし、学校運営の一役を担ってほしいと考える。</p>	<p>○道徳教育のさらなる充実を図りたい。</p> <p>○児童に落ち着きが見られるようになってきたが、もっとコミュニケーション力や自尊感情を培いたい。</p> <p>○市教委にも協力を得ながら、さらなる施設設備の充実を図りたい。(ローカのリノリユームの張り替え、開かない窓や窓枠のゴムの張り替え・雨漏り・漏電等)</p>	<p>○学校図書館や読書への興味付けのための工夫を考えていきたい。</p> <p>○子どもの学力向上のための教師の授業改善への意識改革や教材研究・基礎タイム・放課後フォローアップで習熟度別指導を取り入れるなど支援を必要とする児童の学力向上に努める。</p> <p>○校内研究授業の充実と協議会での教職員の活発な意見交換と深まりのある協議会へと改善していききたい。</p>

3 その他の課題

--